

Meru Networks

フィラデルフィア学区が 世界最大規模の無線LANシステムを導入

ワイヤレスVoIPインフラソリューションのグローバルリーダーであるMeru Networks（メル・ネットワークス）は、アバシアと共同で、米国で8番目の規模を誇るフィラデルフィア学区（SDP：The School District of Philadelphia）が、実稼動しているものとしては世界最大規模の無線ローカルエリア・ネットワーク（WLAN）を導入し、学区内の各学校で無線インターネットアクセスを提供していることを発表した。現在、このSDPのWLANでは、約268校で166,000人の生徒と10,000人の教員に、データ、音声、ビデオの各アプリケーションのセキュアな無線接続サービスが提供されている。

導入プロジェクトは、アバシアとメル・ネットワークスにより共同で実施され、メル・ネットワークスの無線スイッチが7,000台以上実装されたが、これは14,000台のアクセスポイントと28,000台以上の無線機器に相当する。一方アバシアは、Heinz Corporationとともに同プロジェクト全体のシステムインテグレータとして、SDPにコミュニケーション・アプリケーションやサービスを提供した。

現在、SDPの教員は、Wi-Fi対応のノートPCを用いて、オンラインリソースに無線でアクセスし、カリキュラムの作成や配信、あるいはベンチマークテストやデータ活用ができる高度な教育アプリケーションに役立っている。また、メル・ネットワークスの第四世代技術により、SDPの生徒や教職員が、音声、ビデオ、データの各アプリケーションに同時アクセスできるような接続環境のニーズに対応した。無線ネットワーク全体は、SDPのネットワーク管理者にとって利便性が高く、管理し易いものとなっている。なおメル・ネットワークスの無線技術は、2005年に立ち上がったMicrosoftとSDP主導の「将来の学校」プロジェクトの無線インフラストラクチャの提供において最初に採用されている。

Meru Networks(株)
E-mail : marketing@merunetworks.co.jp

ブルーコートシステムズ

通信業界大手のBTが「ProxySG」で よりオープンなWeb利用を可能に

ブルーコートシステムズは、通信業界大手のBTに、同社の「Blue Coat ProxySGアプライアンス」を導入した。これによりBTは、「従業員によるWeb利用の管理」、「コンテンツやアプリケーション配信の高速化」、「消費帯域幅の削減」が可能に。また、アプライアンスのセキュリティ機能により、スパイウェアやウイルスなどのセキュリティ・リスクを回避できるようになった。

ブルーコートシステムズのアプライアンスは、セキュリティと管理の機能が統合されており、ユーザー、サイトの性質、コンテンツ、アプリケーションといった様々な条件に対応したルールの設定機能を実現しているので、特定のグループや個人のみが、MySpaceやFacebookといったサイトにアクセスできるような設定も可能である。BTは従業員の生産性向上のため、包括的なポリシー管理を行い、許可がないサイトへのアクセスを遮断している。ProxySGアプライアンスは、添付ファイルの削除、実行ファイルの自動ダウンロードの予防、Webページ上のウイルスや悪質なコードのスキャンといったセキュリティ対策機能を備えているので、社員が危険性のあるサイトへアクセスしても安全である。

またBTによると、社内から外部Webサイトへのリクエスト送信が2年前の2,700万件から1億3500万件と増加。外部へのWebアクセス件数の上昇は、通信速度を低下させ、外部ネットワークからのセキュリティ・リスクを高めるが、ブルーコートのアプライアンスにより、安全性を損なうことなく、BTの従業員によるWebアクセスの許容量を拡大し、インターネット対応のアプリケーションのパフォーマンスが強化された。さらに、WAN上に展開されたProxySGアプライアンスの利用により、Webベースの人事ソリューションなどの重要なビジネスアプリケーションを離れた支店でも本社と同じパフォーマンスで実行できるようになった。

ブルーコートシステムズ(株)
TEL : 03-3580-8350